

1.2号機使用済燃料プール ライナー破損による水位低下予測

2022年5月

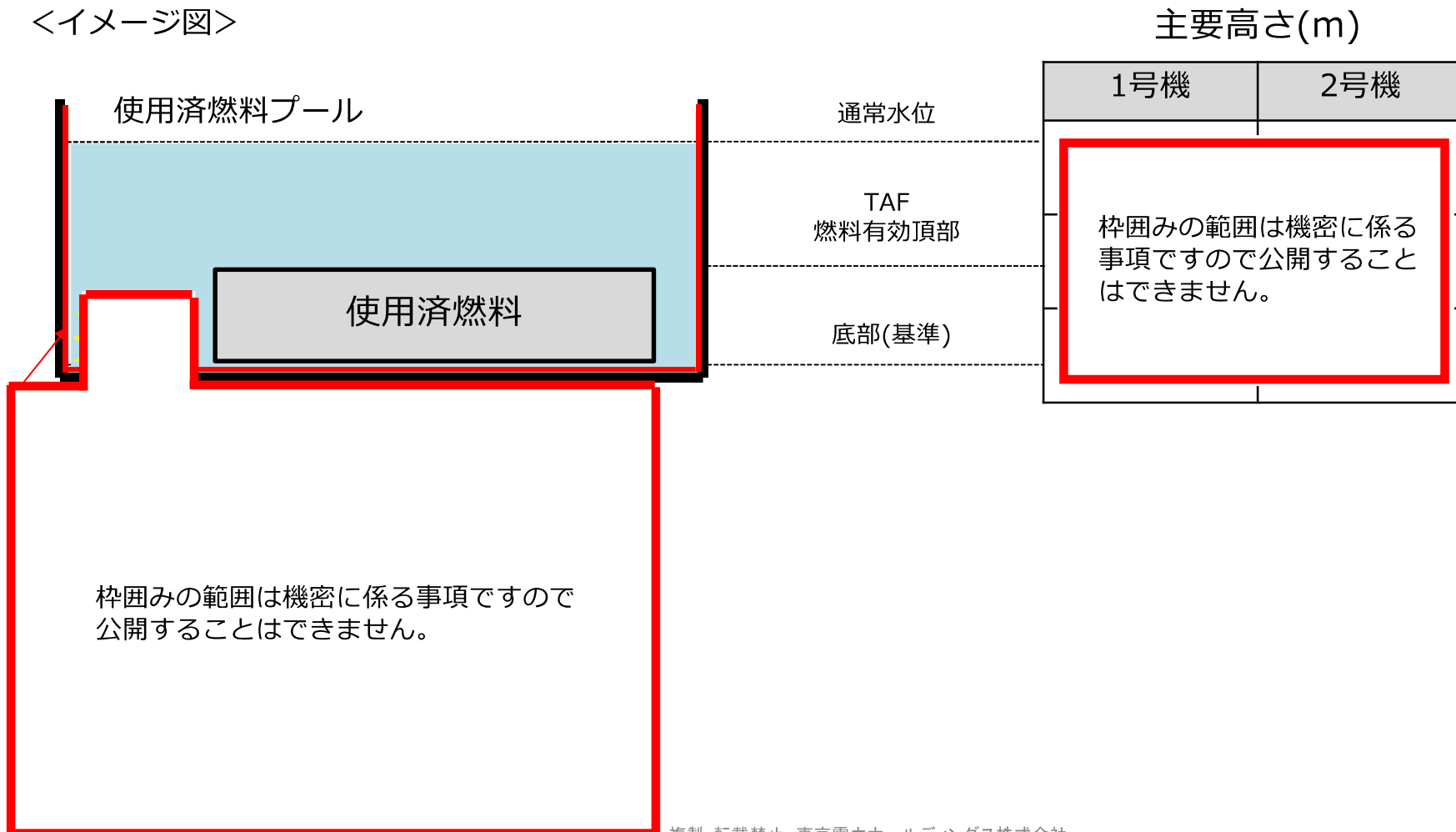
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

1.評価方法

- ✓ 1・2号機使用済燃料プールライナー破損時評価においては、使用済燃料プールライナーの一部が破損し、プール保有水がライナードレン配管を通じファンネルへ漏えいしたとして評価する。

<イメージ図>



2.評価条件

<評価条件>

	設定条件	1号機	2号機
使用済燃料プール	1m高さあたりのプール体積 (m ³ /m)	枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。	
	プール通常水位 (m)		
	TAF:燃料有効長部高さ (m)		
使用済燃料プール ライナー	ライナードレン配管径 (mm)		
	ライナー破損時の漏えい量※ (m ³ /h)		

※漏えい量については保守的に水頭圧が通常水位で一定とし算出

漏えい量=

=

=

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

3.評価結果

- ✓ 評価条件を基にライナー破損による漏えいが継続し使用済燃料プール水位が低下した場合の評価を行った。

<評価結果>

	1号機	2号機
TAF+4m	枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので 公開することはできません。	
TAF+2m		
TAF		

1号機 SFP漏洩量と水位低下

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

2号機 SFP漏洩量と水位低下

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。